

# 全国高校生模擬裁判選手権 2010

## 福井県予選の御案内

日本弁護士連合会では、裁判員制度の実施に向け、事実の多面的な見方や、手続的正義（適正手続）という法的価値を高校生に身につけていただくために、平成19年より、「全国高校生模擬裁判選手権」を開催しており、マスコミ等においても大きく報道される所となりました。

平成19年の第1回大会には、関東大会・関西大会それぞれに4校ずつが参加し、平成20年の第2回大会には、両大会ともに6校ずつが参加しました。また、同年11月には、東西両大会の優勝校による「東西決戦」が初めて開催されました。平成21年の第3回大会では、関東・関西両大会に加えて九州大会も開催され、本年度（平成22年）は新たに四国大会も開催される見通しであるなど、新学習指導要領への「法教育」の導入を受けて、本大会は全国的な広がりを見せております。

さて、福井弁護士会では、すでに平成14年度より全国に先駆けて先進的な法教育への取り組みを行なってまいりましたが、高校生模擬裁判選手権におきましても、全国で唯一の地方予選（福井県大会）を実施し、その優勝校には、福井県代表として関西大会へ御出場いただいております（平成20年度関西大会には武生高校チーム、平成21年度関西大会には藤島高校チームが出場）。

本年度の第4回全国高校生模擬裁判選手権においても、例年どおり、関西大会には「福井県代表校」枠が特例として用意されております。

つきましては、裏面の開催要領と別紙「参加要領Q&A」を御参照いただき、ぜひ福井県予選への参加を御検討いただきたく、お願い申し上げます。

福井弁護士会

会 長 黛 千恵子

同弁護士会 こどもの権利・法教育委員会

委員長 野 坂 佳 生

「全国高校生模擬裁判選手権2010」福井県予選

**開 催 要 領**

- 開催日時 平成22年4月29日（木・祝日）  
午前9時30分～午後3時30分
- 開催場所 福井地方裁判所（予定）  
※実際の法廷を使用させていただける見通しですが、  
裁判所の御都合によっては変更の可能性があります。
- 参加資格 福井県内の高等学校在籍生徒（学年を問いません）。  
ただし、原則として1学校1チームとします。  
1チームの構成員は「Q&A」を御参照ください。
- 参加申込期限 平成21年3月26日(金)  
※参加申込み時点では、参加生徒名（チーム構成員）が  
確定している必要はありませんが、4月1日（木）に全  
参加生徒対象の説明会等を開催しますので（席上で事件  
記録を配布）、3月末までにメンバー確定をお願いします。
- 参加申込方法 学校名と担当教員名を明記のうえ、福井弁護士会あて  
に以下のいずれかの方法でお申し込みください。  
 ファックス （0776）23-9330  
 Eメール info@fukuben.or.jp
- 【御参考】 関西大会（予定）  
平成21年8月7日（土）  
大阪地方裁判所（法廷使用）

## 参加要領 Q & A

**Q 何名程度の生徒数で参加すればよいのでしょうか？**

A 4名から10名程度で1チームとなります。

役割分担は、検察官役1～3名、弁護士役1～3名、被告人役1名、証人役1名というのが一応の目安ですが、検察官役と弁護士役は各4～5名として細かく役割を分担することも不可能ではなく、実際、去年の藤島高校チームは10名を超えるチーム構成でした。

なお、裁判官役は福井弁護士会員が担当します。

**Q 参加費が必要でしょうか？**

A 登録費は不要ですが、福井県予選会場までの往復交通費と当日の昼食代は参加者負担となります（引率の先生についても同様）。

県予選優勝校の関西大会往復旅費は、福井弁護士会で負担します。

**Q 勝敗は、どのようにして決まるのでしょうか？**

A 現職の裁判官、検事、弁護士、研究者、マスコミ関係者で構成される5名1組の審査員団が、定められた採点基準に従い、各チームの証人尋問、被告人質問、検察側論告、弁護士側最終弁論を採点します。

なお、採点結果は非公開としておりますが、採点基準の概要は事前に公開します。

**Q 高校生には難しいのではないのでしょうか？**

A 細かな法律知識や刑事訴訟手続に関する知識、あるいは専門家のような高度な尋問技術などは求められません。本事業の目的は、①刑事裁判では、どんなことが・なんのために行われているのかを理解していただくこと（制度理解）と、②合理的なものの見方・考え方、わかりやすい表現能力を実践的に養っていただくこと、の2点にあります。いずれについても、各校2名ずつの支援弁護士が参加生徒さんを支援いたします。

**Q** 弁護士による支援は何回程度、どんな内容で行なわれるのでしょうか。

**A** 支援弁護士による支援は、概ね、以下のような内容を想定しています。

(1) 全体支援：

4月1日のガイダンスの際に、参加生徒さん全員を対象として、福井弁護士会員が次の法教育授業を行います（50分×3）。

【第1時】ペナルティを考える（匡正的正義について）

【第2時】なぜ裁判が必要なのか（手続的正義について）

【第3時】実際の刑事裁判手続と裁判員制度の意義

なお、参加申込みをいただいた学校にはガイダンスの詳細な案内を差しあげますが、現時点では以下の概要を予定しております。

【日時】平成22年4月1日（木）午後1時～午後5時

【場所】福井弁護士会（裁判所東側・三井生命ビル7階）

(2) 個別支援：

支援弁護士が、事前に生徒さんと日程調整のうえで、週1回程度、各学校に赴き、計4回程度の支援を行います。なお、支援弁護士の代理戦にならないように、個別支援の内容はできる限り定型化していきたいと考えており、以下は現時点での支援（案）です。

【第1回支援までの宿題】記録読み込み、論告・弁論の素案作成

【第1回支援】論告・弁論についてのアドバイス

【第2回支援までの宿題】論告・弁論修正、尋問事項の素案作成

【第2回支援】論告・弁論と尋問事項についてのアドバイス

【第3回までの宿題】論告・弁論再修正、尋問事項修正

【第3回支援】尋問リハーサル、尋問についてのアドバイス

【第4回までの宿題】尋問事項再修正、尋問練習

【第4回支援】手続全体リハーサル、最終アドバイス

(3) 刑事裁判傍聴（可能なら）

もし傍聴に適する事件があれば、4月上旬（春休み期間中）に福井地方裁判所で実際の刑事裁判を傍聴していただきます。ただし、日程は裁判所の公判期日にあわせざるを得ませんので、傍聴の日程をお知らせできるのは4月1日のガイダンス当日になります。

**Q 教員による指導は必要でしょうか？**

A 各回の支援の間の「宿題」に関しましては、教員による御指導をいただくことも有益かと考えておりますが、主催者としては、教員による御指導を要請してはおりませんし、生徒さんがただで自主的に御準備いただくという前提で支援計画案を策定しております。

**Q 大会当日はマスコミ取材があるのでしょうか？**

A 本大会（関西大会）はもとより、福井県予選においても、地元マスコミの取材が予想されますが、参加生徒さんの意思に反して写真や映像が報道されることのないよう、マスコミには十分な配慮を要請いたします。

**Q 支援弁護士の支援に対する謝金が必要なのでしょうか？**

A 不要です。実際に弁護士と触れ合い、一緒に何時間にもわたり模擬裁判に向けた準備を行うということは、通常の学校教育の中では、なかなか実現困難なことではなかろうかと存じますので、このような教育機会を、ぜひ御活用いただければと存じます。なお、御参考までに、昨年度予選大会の参加者アンケート集計結果を同封させていただきます。

**Q 選手以外の生徒や父兄が応援に行くことは可能でしょうか。**

A 裁判所の使用法廷には傍聴席がありますので、各学校20～30名程度の傍聴は可能です。教育目的のためにも、参加生徒さん以外の生徒さんや御父兄の傍聴は歓迎いたします。ただし、使用する事件記録は、実際の刑事訴訟記録に基づくものであり、取り扱いに慎重を要しますので、傍聴者に写しを配布することはできません。

**Q 参加申込みの際にメンバーの氏名を連絡する必要がありますか？**

A 参加申込みの段階では、学校名と担当教員名（可能であれば参加生徒数の概数）を御連絡いただければ結構です。参加生徒さんの御氏名は、ガイダンス当日に配布する名簿に御記入いただきます。なお、申込みを頂戴した学校には、4月1日のガイダンスの詳細な御案内を差し上げます。